

いずみさの昔と今 第346回

「近代学校教育のはじまり」

現在、日本の小学校就学率はほぼ100%であり、小学校に通っていない人を探すことが難しい時代です。しかし、学校教育がはじまった頃の明治8（1875）年の就学率は35.4%であり、3人に一人しか学校に通っていないかたうです。そこから多くの努力があり、明治38年に95%を超えるまでになりました。ここでは、学校教育がはじまった明治時代の教育の歴史とその歩み、泉佐野の動向を見ていきます。

日本の学校教育は明治5年の学制発布を契機に全国的にはじまります。学制では学区制を採用し、全国を8大学区、256中学区、53,760小学区に分け、各区に1校を設置することを目指しました。泉佐野でも明治5年に小学校の前身である佐野村郷学、日根野郷学、長滝村村落小学が開校され、その後合併と新設を繰り返しながら明治9年までに合計9校が設置されています。続く明治12年になると政府は教育令を制定し、学制は廃止となりました。教育令下では、学区に代わり町村ごとに学校を設置することが求められました。明治14年には「小学校教則綱領」が制定され、小学校は初等科3年、中等科3年、高等科2年と定められ、また教科の内容、授業時間などが明記されます。さらに明治16年には文部省による教科書認可制度がはじまり、教科書の統一が図られ教育環境の整備が一層進みました。明治18年には内閣制度が創設され、森有礼が初代文部大臣に就任しました。森大臣は就任後すぐに教育制度の改革を実施し、翌年4月10日に小学校令を制定、小学校を尋常・高等の二段階に分けました。また、尋常小学校の設置を認め、これを尋常小学校に代用できるものとなりました。泉佐野市域では、明治20年に各小学校に尋常科の設置を行い、翌年には簡易科も併置され、広く就学への門戸が開かれていたようです。

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの ☎469-7140 Fax469-7141
休館日 月曜日、毎月最終木曜日（いずれも祝日の場合は開館し、その翌日が休館）
開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入館料 無料



▲佐野第二小学校（昭和11年竣工）

には55.1%だった就学率は明治38年には95.6%になっています。以降、世界大戦などもありましたが、就学率は現在まで100%に近い値で推移していくこととなります。現在の学校教育は幾度の改革の上に成立していることが分かります。9月21日(土)よりレイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさのでは学制「戦前の教科書を展示します。時代ごとに変化する教科書から教育の歴史を知ることができ、展覧会にぜひお越しください。」

泉佐野 レトロ タイムスリップ

泉佐野市の昭和頃の懐かしい写真を紹介します。

④商店街（1）



◀昭和30年代頃の写真。「本通り商店街」や「上善寺前商店街」と呼ばれ、写真にもその名前が見えます。当時、大変賑わっていたことが写真からもわかります。



◀現在の同じ場所の写真
▲関空開港の時期に、飛行機をイメージした「つばさ通り」という名称がつけられ、アーケードも新しくなりました。最近ではリノベーションされたお店などが増えてきています。

泉佐野市の懐かしい写真は「泉佐野市デジタルアーカイブ (https://adeac.jp/izumisano-city/top/)」でも公開中！